

I 科目の目標と評価の観点

科目名	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
総合数学B	3	2	改訂版 新編 数学I (数研出版) 改訂版 新編 数学A (数研出版)	改訂版 リンク数学演習I・A 受験編 (数研出版)

目標	<p>数学I分野 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学A分野 場合の数と確率、整数の性質または図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>全体を通して、既習事項を活用して発展的な問題(大学等の入試問題)の解き方を模索したり、日常にある事象に対して応用して考えたりする活動を行い、数学IAの内容についての理解の深化を図る。</p>
1 数と式 (数学I)	数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。
2 集合と命題 (数学I)	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。
3 2次関数 (数学I)	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
4 図形と計量 (数学I)	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
5 データの分析 (数学I)	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。
6 場合の数と確率 (数学A)	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
7 図形の性質 (数学A)	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
8 整数の性質 (数学A)	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする
9 まとめと演習	既習事項の本理解をもとに、教科書にはない問題(入試問題等)についても、自分なりに道筋をたてて取り組むことができるようにする。

2 評価の観点と評価方法

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点	数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析、場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な疑問、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取り組み ・課題・提出物の状況 ノート，プリント，レポート等 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出レポートの内容 ・提出ノートの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト